

様式2

## 先進地（現地）調査報告書

平成29年3月31日

玉名市議会

議長 永野 忠弘 様

氏名 森川 和博



下記のとおり、先進地（現地）調査を行いましたので報告します。

調査議員	吉田喜徳、田畠久吉、横手良弘、田中英雄、嶋村徹、森川和博
日時	平成28年7月14日（木）～平成28年7月16日（土）
調査先	玉三屋食品 株式会社（名古屋市守山区）、志摩市
調査事項	無公害で低コストのゴミ処理技術 自然災害（地震・津波）防災減災対策
調査先面会者	ERCMの社員、㈱ASK商会 志摩市総務部地域防災室長 [REDACTED] 志摩市政策推進部室長 [REDACTED] 他議会事務局職員
概要及び所見	<p>7月14日 玉三屋食品㈱（名古屋市守山区）</p> <p>燃料を使わずに可燃性廃棄物を無機化し劇的に減容できるゴミ処理技術を見学。</p> <p>このシステムは、排熱や有毒ガス、騒音、振動を出さずに再資源化、あらゆるゴミをセラミックで燃焼した後、セラミックが残るもの。</p> <p>※ 発明者「東京工業大学」「熊本大学工学部」熊本県の产学研で研究開発、現在国（環境省）に認可申請中。</p> <p>7月15日 三重県志摩市役所訪問し、南海トラフ地震を想定した対策について伺った。津波に対するハザードマップの整備や避難所で3～7日間分の食料、飲料水、発電機、簡易トイレ、毛布などを備蓄しているとのことであった。</p> <p>熊本地震やサミット会場に選ばれた志摩市賢島会場周辺の防犯対策についてもあわせて意見交換を行なった。</p>

様式2

## 先進地（現地）調査報告書

平成29年3月31日

玉名市議会

議長 永野 忠弘 様

氏名 森川 和博  


下記のとおり、先進地（現地）調査を行いましたので報告します。

調査議員	森川和博	
日 時	平成28年8月31日( )～平成28年9月2日( )	
調査先	熊本市 益城町 西原村 南阿蘇 鹿児島市 天草市	
調査事項	熊本地震における九州各県の被害状況について	
調査先面会者	熊本城観光ボランティアガイド [REDACTED] 各地域の方々	
概要及び所見	<p>2016年4月14日、16日の熊本地震により多くの人命が失われ。未だ多くの方が避難所生活を余儀なくされている。九州中も熊本県を中心として建物や社会資本インフラ等の損害も激しく経済状態も停滞した時期もあった。その為、各県や地域において復旧に向け懸命の努力がなされている。今回の研修は山も海も中山間地も平野もある玉名地域を想定し、下記の九州各地の被害状況など広域に研修を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 熊本城は櫓や門など重要文化財に指定されている13の建物全てで深刻な被害が出ている。</li><li>2) 益城町、西原村、南阿蘇村などを特に建物被害が多かった地域を視察、中でも益城町の木山地区においては木造建築の倒壊が顕著に見られた。</li><li>3) 鹿児島県において九州新幹線の全線開通は観光客や修学旅行など終点の鹿児島に宿泊していただく人気の地域であったが、地震発生以来、6万人以上のキャンセルが相次ぎ、現在もその影響は続いている。</li><li>4) 天草市において南海トラフが起きた場合、天草が一番被害を受けるのではと考える方が非常に多い。南海トラフが起きた場合に天草市などの被害は最大深度4でも津波4メートル、津波到達時間131分など想定されている。玉名市においても同様の危機管理が必要である。</li></ol>	